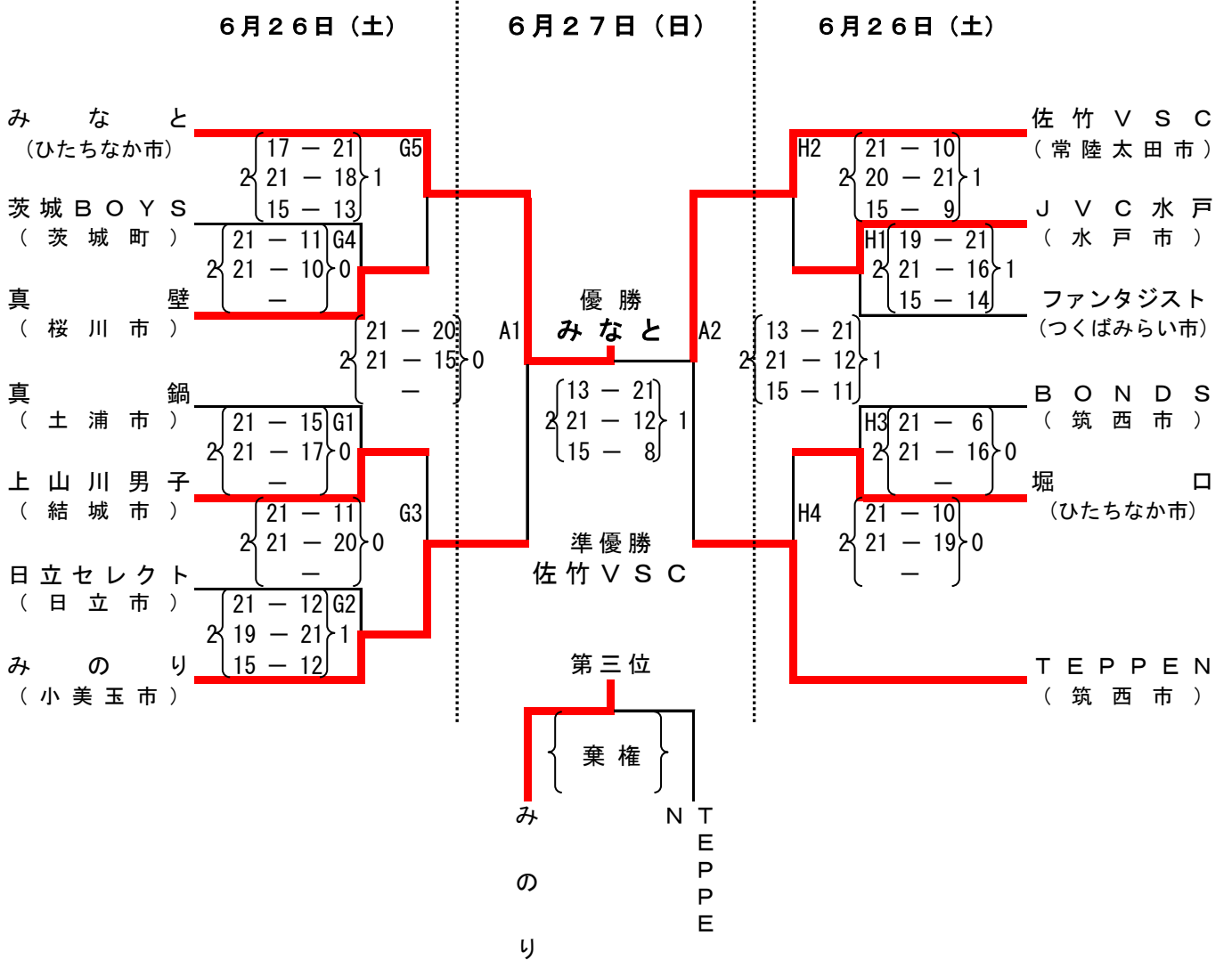


# 第41回全日本バレーボール小学生大会茨城県大会結果

期 日 令和3年6月26日(土)・27日(日)  
 会 場 結城市かなくぼ総合体育館 A・B・C・Dコート  
 結城市立結城南中学校体育館 E・Fコート  
 結城市立上山川小学校体育館 Gコート、結城市立城南小学校体育館 Hコート

【 男子の部 】 試合球:モルテン



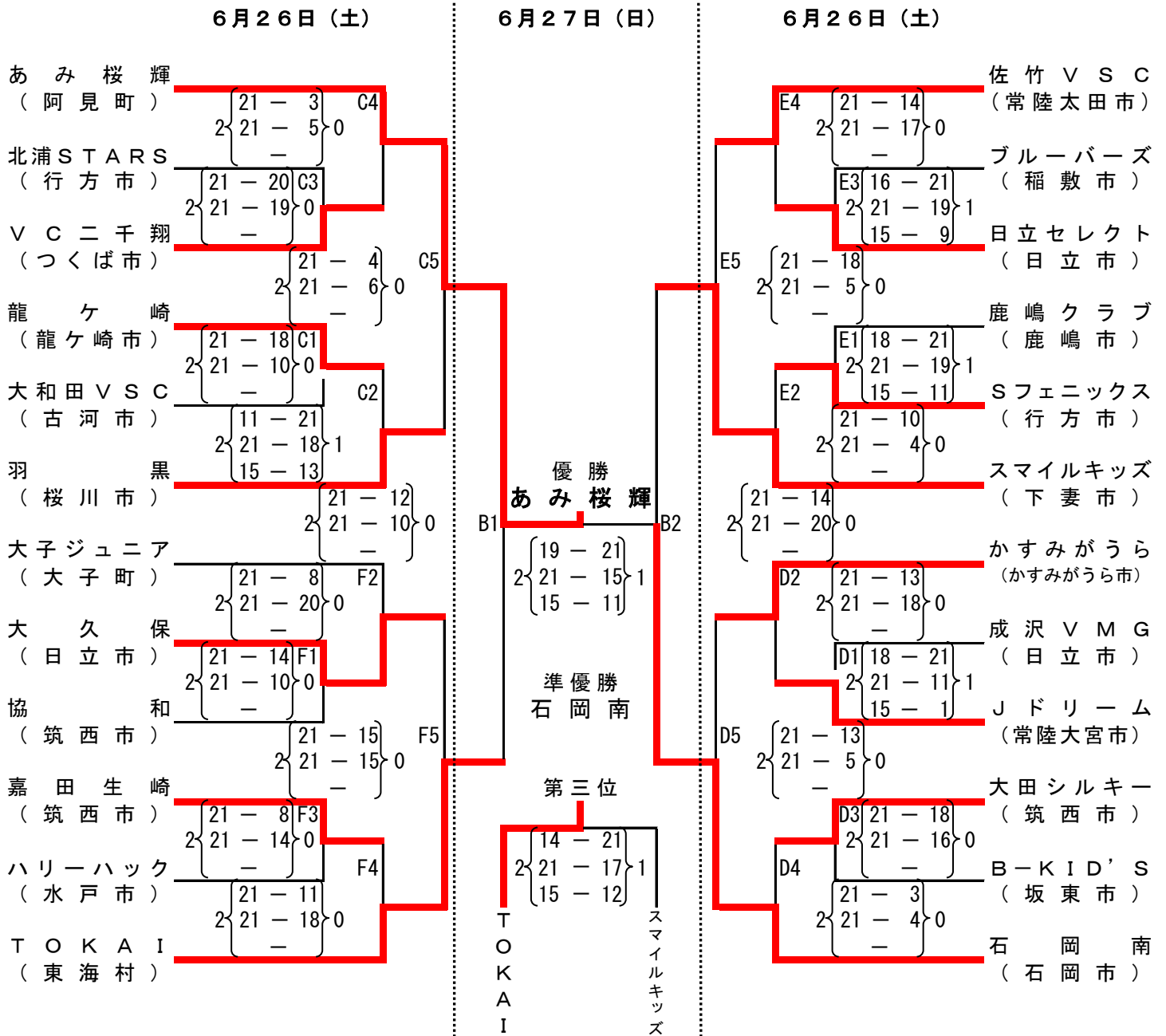
第 41 回全日本バレーボール小学生大会茨城県大会 【男子：決勝】戦評：菊地

カテゴリー	男子
試合	決勝
会場・コート	結城市かなくぼ総合体育館・Aコート
対戦チーム	みなと VS 佐竹 VSC
スコア	第1セット：13-21 佐竹 第2セット：21-12 みなと 第3セット：15- 8 みなと セットカウント 2：1 みなと
<p>どちらが勝っても初優勝の男子決勝戦は、みなとの4番、佐竹の1番、両エースの打ち合いとなり、高さで打ち続けたみなとが勝利し、初優勝を遂げた。</p> <p>第1セットは、佐竹が立ち上がりからサーブポイントやスパイクポイントでペースをつかみ、終始安定した攻撃で先取した。</p> <p>第2セットに入ると、今度はみなとの4番のアタックやサーブが走り出し、流れに乗ると、中盤にはみなと3番の選手の6連続サーブポイントで第2セットを取り返した。</p> <p>迎えた第3セットは、前半は両チーム共にラリーの応酬が続き、一進一退の攻防で試合が進んだ。しかし、中盤からは、みなとが1番の3連続サーブポイントで走り出し、最後はみなと4番のスパイクが決まり、勝利をものにした。</p>	

# 第41回全日本バレーボール小学生大会茨城県大会結果

期 日 令和3年6月26日(土)・27日(日)  
 会 場 結城市かなくぼ総合体育館 A・B・C・Dコート  
 結城市立結城南中学校体育館 E・Fコート  
 結城市立上山川小学校体育館 Gコート、結城市立城南小学校体育館 Hコート

## 【女子の部】 試合球：ミカサ



第 41 回全日本バレーボール小学生大会茨城県大会 【女子：決勝】 戦評：大聖寺

カテゴリー	女子
試合	決勝
コート	結城市かなくぼ総合体育館・Bコート
対戦チーム	あみ桜輝 VS 石岡南
スコア	第1セット：19-21 石岡南 第2セット：21-17 あみ桜輝 第3セット：15-11 あみ桜輝 セットカウント 2：1 あみ桜輝
<p>3月の新人大会と同じ顔合わせとなった女子決勝戦。 あみ桜輝のサーブで始まった第1セットは、石岡南3対0と先行、あみ桜輝が1度は追いつき一進一退で進んだ。中盤で12対8となりあみ桜輝がタイムを取るが流れは変わらず、石岡南2番、あみ桜輝3番の両エースの打ち合い続く展開。終盤に入り、石岡南2番のフェイント、ブロックが決まり、21対19で石岡南が先取した。 第2セットも、序盤は石岡南が4対0とリードすると、あみ桜輝がタイムを取る。タイム明け石岡南でミスが出て、さらにあみ桜輝3番のスパイクが決まり出し、中盤にかけてあみ桜輝が追いつく。11対11からの後半、あみ桜輝3番のスパイクが順調に決まり出し、16対12のあみ桜輝リードで、石岡南がタイムを取るが流れは変わらず、21対15であみ桜輝が取り返して最終セットに入る。 第3セットは序盤4対0であみ桜輝がリードした時点で、石岡南がタイムを取るが、流れは取り戻せず8対4であみ桜輝のリードのままコートチェンジ。その後あみ桜輝の3番スパイクミスが連続し、石岡南が追いつくかと思われたが、終盤にはいると、あみ桜輝3番と石岡南2番の鋭いスパイクが応酬する展開となり、見ごたえのある決勝戦となった。最後はあみ桜輝が力で全日本大会初優勝を獲得した。</p>	

# 第41回全日本バレーボール小学生大会茨城県大会結果

期 日 令和3年6月26日(土)・27日(日)  
 会 場 結城市かなくぼ総合体育館 A・B・C・Dコート  
 結城市立結城南中学校体育館 E・Fコート  
 結城市立上山川小学校体育館 Gコート、結城市立城南小学校体育館 Hコート

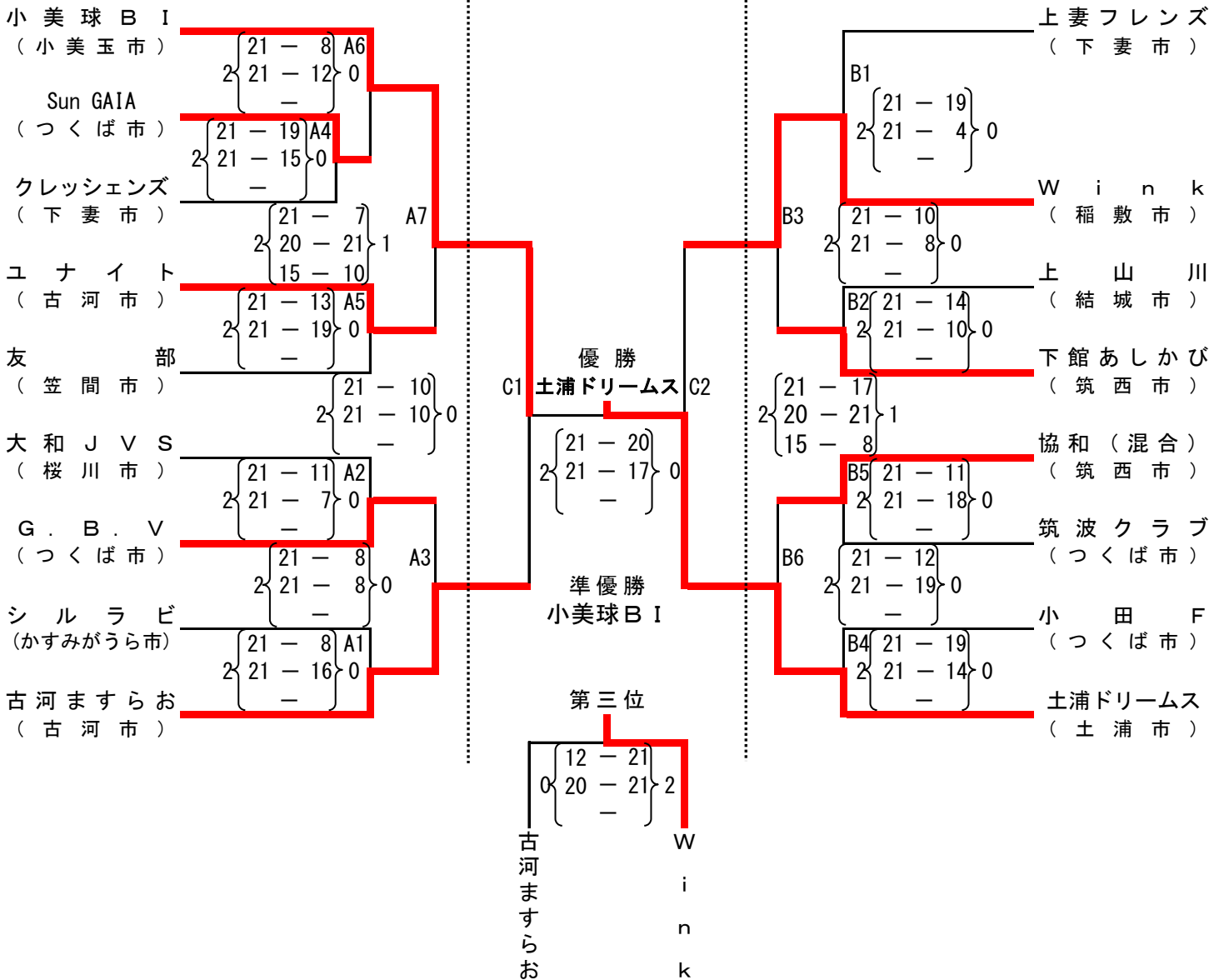
## 【混合の部】

試合球:モルテン

6月26日(土)

6月27日(日)

6月26日(土)



第 41 回全日本バレーボール小学生大会茨城県大会 【混合：決勝】戦評：染谷

カテゴリー	混合
試合	決勝
コート	結城市かなくぼ総合体育館・Cコート
対戦チーム	小美球B I VS 土浦ドリームス
スコア	第1セット：21-20 土浦ドリームス 第2セット：21-17 土浦ドリームス セットカウント 2：0 土浦ドリームス
<p>混合の決勝戦は、土浦ドリームス対小美球B I と新人大会と同じカードの対決となった。</p> <p>第1セットの序盤は、両チームともサーブレシーブが安定し、ラリーが続く展開。土浦ドリームスの1番、小美球B I の3番のスパイクの打ち合いのシーソーゲームとなったが、最後は 21 対 20 で土浦ドリームスが先取した。</p> <p>第2セットに入ると、序盤は、小美球B I の3番のスパイク、5番のサービスエースで7点差をつけた。しかし、土浦ドリームスの1番のスパイク、ブロックで点を取り出すと徐々に差が少なくなり、中盤を過ぎた時点で逆転。その後も土浦ドリームスの1番のサービスエースもあり、連続得点する場面が多くなり、逆転した土浦ドリームスが 21 対 17 として2セット目も連取して新人大会の雪辱を果たした。</p>	